

# 第5回宇都宮市上下水道事業懇話会資料

## 第2次上下水道基本計画改定計画の 施策指標について

【令和4年8月26日】

柱1 安全で安心な水道水の供給

計画の柱

1 安全で安心な水道水の供給

水道水の品質を維持しながら、安全で安心な水道水を安定供給します。

基本施策

1 安全で安心な水道水の供給

2 安定給水の確保

指標名	現状 (H28)	目標値 (R4)	R4見込み
①おいしい水の要件の適合	適合	適合	適合
②水道普及率	98.0%	99.0%	98.0%

改定計画

計画の柱

1 安全で安心な水道水の供給

水道水の品質を維持しながら、安全で安心な水道水を安定供給します。

基本施策

1 安全で安心な水道水の供給

2 安定給水の確保

指標名	現状 (R4)	目標値 (R9)
①おいしい水の要件の適合	適合	適合
②水道普及率	98.0%	99.0%

施策指標の設定について

- ・ 施策指標①については、高品質で安全・安心な水道水をお客様に提供するため、引き続き「採用」する。
- ・ 施策指標②については、令和2年度に拡張事業が終了し、給水要望にも着実に対応してきたが、近年、数値は横ばいに推移しているものの、未加入世帯への加入促進など、今後も取組を継続していく必要があることから引き続き「採用」する。

目標値の設定について

- ・ 施策指標①については、これまでも「おいしい水の要件（7項目）」について適合を継続しており、今後もこれを維持していくことが重要であると考えられることから目標値は引き続き「適合」とする。
- ・ 施策指標②については、未加入者の加入促進に引き続き取り組み、目標値を「99%」とする。

## 柱2 下水の適正処理の推進

### 計画の柱

#### 2 下水の適正処理の推進

生活排水を適正に処理し、公共用水域の水質を保全し、快適な生活環境を確保します。

### 基本施策

1 下水道の適正使用の推進

2 汚水管渠・水再生センター等の整備

指標名	現状 (H28)	目標値 (R4)	R4見込み
①公共下水道接続率	94.3%	96.9%	95.8%

### 改定計画

### 計画の柱

#### 2 下水の適正処理の推進

生活排水を適正に処理し、公共用水域の水質を保全し、快適な生活環境を確保します。

### 基本施策

1 下水道の適正使用の推進

2 汚水管渠・水再生センター等の整備

指標名	現状 (R4)	目標値 (R9)
①生活排水処理率	96.0%	98.8%
※公共下水道接続率	95.8%	98.7%

### 施策指標の設定について

・ 農業集落排水事業・地域下水処理事業の下水道事業への経営統合を踏まえ、管理の対象を市域全体の汚水処理に拡大していく必要があることから前期計画の施策指標に公共下水道以外の状況も加味した指標である「生活排水処理率」を新たに設定する。

#### 【前期指標】

公共下水道接続率 = 公共下水道処理人口 ÷ 公共下水道処理区域内人口

#### 【後期指標】

生活排水処理率 = 処理人口(※) ÷ 行政人口

※ 公共下水道 + 農業集落排水 + 地域下水 + 合併浄化槽

### 目標値の設定について

・ 生活排水の適正処理を目的として策定した「生活排水処理基本計画」に掲げる、令和12年度の目標値(100%)を見据え、引き続き、未接続者の接続促進等に取り組み、目標値を「98.8%」とする。

【参考】生活排水処理率の事業ごとの推計 出典:「生活排水処理基本計画(令和2年度策定)」

	行政人口	公共 下水道	農業集落 排水事業	地域下水 処理事業	合併処理 浄化槽	合計	生活排水 処理率
R4(現状)	517,268人	453,256人	9,747人	10,659人	23,132人	496,794人	96.0%
R9(推計)	512,292人	475,327人	7,155人	10,764人	13,152人	506,398人	98.8%

### 柱3 施設の適正な管理及び機能向上

#### 計画の柱

#### 3 施設の適正な管理及び機能向上

上下水道の施設や管路を適正に維持管理するとともに、老朽化した施設・管路の改築・更新や再構築をすることで、機能向上を図り、安全なライフラインを確保します。

#### 基本施策

- 1 浄水場・配水管等の適正な管理
- 2 水再生センター・汚水管渠の適正な管理及び機能向上

指標名	現状 (H28)	目標値 (R4)	R4見込み
①水道の有収率	88.2%	90.6%	90.6%
②下水道の有収率	68.0%	70.3%	64.2%

### 改定計画

#### 計画の柱

#### 3 施設の適正な管理及び機能向上

上下水道の施設や管路を適正に維持管理するとともに、老朽化した施設・管路の改築・更新や再構築をすることで、機能向上を図り、安全なライフラインを確保します。

#### 基本施策

- 1 浄水場・配水管等の適正な管理
- 2 水再生センター・汚水管渠の適正な管理及び機能向上

指標名	現状 (R4)	目標値 (R9)
①水道の有収率	90.6%	90.6%
②下水道の有収率	66.4%	71.6%

※旧生活排水処理事業(農集・地域・工業)を除いた場合  
64.2% 69.3%

対象事業の増加に伴い  
前期見込みから数値が増加

#### 施策指標の設定について

- ・ ①, ②いずれについても総配水(処理)水量に占める, 料金(使用料)の徴収対象となった水量を示しており, 施設を適正に管理できているかを確認する上で重要な指標であることから, 引き続き「採用」する。
- ・ 施策指標②については, 農業集落排水事業・地域下水道処理事業・工業団地排水処理事業の下水道事業への経営統合を踏まえ, これらの状況を加味して算定することとする。

#### 目標値の設定について

- ・ 施策指標①については, 漏水を抑制し, 安定給水を確保するため, 改築・更新工事等に取り組み, 目標値を「90.6%」とする。
- ・ 施策指標②については, 頻発する集中豪雨などの中においても市民の安心安全な生活を確保するため, 引き続き止水工事等に取り組み, 目標値を「71.6%」とする。

## 柱4 災害に強い上下水道の確立

### 計画の柱

#### 4 災害に強い上下水道の確立

災害時に迅速な応急復旧ができる体制づくりを強化するとともに、基幹施設における耐震性を確保します。また市街地における浸水被害の軽減を図り、安全で安心なライフラインを確保します。

### 基本施策

- 1 危機管理体制の充実
- 2 基幹施設・基幹管路の耐震化の推進
- 3 総合的な雨水対策の推進

### 《用語解説》

- ① 水道の基幹管路…浄水場につながる水道管や、口径の大きな水道管
- ② 下水道の重要な幹線管路…避難所や災害拠点病院等に接続する管路
- ③ 公共下水道雨水幹線…雨水のみを排除する管路のうち、主要な管路

指標名	現状 (H28)	目標値 (R4)	R4見込み
①水道基幹管路の耐震適合率	49.3%	54.0%	72.3%
②下水道の重要な幹線管路の耐震適合率	76.2%	82.4%	82.9%
③公共下水道雨水幹線整備率	55.1%	56.7%	55.3%

## 改定計画

### 計画の柱

#### 4 災害に強い上下水道の確立

災害時に迅速な応急復旧ができる体制づくりを強化するとともに、基幹施設における耐震性を確保します。また市街地における浸水被害の軽減を図り、安全で安心なライフラインを確保します。

### 基本施策

- 1 危機管理体制の充実
- 2 基幹施設・基幹管路の強靱化の推進
- 3 総合的な雨水対策の推進

### 施策指標の設定について

- ・ ①, ②, ③いずれについても、大規模地震や集中豪雨などの災害に強い上下水道施設を確立していく中で数値を管理していく必要があることから引き続き、「採用」とする。
- ・ ②については前期計画において特に優先度が高い管路(25.5km)としていた対象を全ての重要な幹線管路(424km)に変更する。

### 目標値の設定について

- ① 「上下水道施設耐震化基本計画」を踏まえ、白沢浄水場の導水管を耐震化等に取り組み、目標値を「75.9%」とする。
- ② 「下水道施設耐震化実施計画」を踏まえ、引き続き、大規模な避難所や災害拠点病院に接続する管路の耐震化に取り組み、目標値を「23.2%」とする。
- ③ 「総合治水・雨水対策推進計画」を踏まえ、引き続き、重点排水区の雨水幹線の延伸に取り組み、目標値を「58.4%」とする。

指標名	現状 (R4)	目標値 (R9)
①水道基幹管路の耐震適合率	72.3%	75.9%
②下水道の重要な幹線管路の耐震適合率	21.9%	23.2%
※前期算定基準	82.9%	100%
③公共下水道雨水幹線整備率	55.3%	58.4%

対象管路の増加に伴い、前期見込みから数値が減少

## 柱5 最良なサービスの提供

### 計画の柱

### 基本施策

#### 5 最良なサービスの提供

#### 1 最良なサービスの提供

お客様ニーズを的確に把握し、より充実したサービスの提供や広報活動を実施することで、お客様満足度の向上に努めます。

指標名	現状 (H28)	目標値 (R4)	R4見込み
①お客様満足度	68.9%	75.0%	71.1%

### 改定計画

### 計画の柱

### 基本施策

#### 5 最良なサービスの提供

#### 1 最良なサービスの提供

お客様ニーズを的確に把握し、より充実したサービスの提供や広報活動を実施することで、お客様満足度の向上に努めます。

指標名	現状 (R4)	目標値 (R9)
①お客様満足度	71.1%	75.0%

### 施策指標の設定について

- ・ 現行の施策指標は宇都宮市上下水道局の経営理念のひとつである「顧客重視」や「信頼経営」に結びつく重要な指標であり、第1次・第2次計画(前期計画)をとおして採用してきた指標であることから、第2次計画(後期計画)においても、引き続き「採用」する。

### 目標値の設定について

- ・ SNSの活用など、第2次計画前期計画期間において新たに取り組んだ事業の成果を踏まえ、同計画後期計画において更なる広報広聴事業の充実を図ることで目標値を「75.0%」とする。

## 柱6 環境負荷低減の推進

### 計画の柱

#### 6 環境負荷低減の推進

### 基本施策

#### 1 環境に配慮した取組の推進

再生可能エネルギー及び上下水道資源の有効活用や節電など、環境に配慮した取組を行い、環境負荷低減を推進します。

指標名	現状 (H28)	目標値 (R4)	R4見込み
①エネルギー消費量	56.51kℓ／年	5%低減	53.60kℓ／年

### 改定計画

### 計画の柱

#### 6 環境負荷低減の推進

### 基本施策

#### 1 カーボンニュートラルの実現に向けた取組の推進

#### 2 環境に配慮した取組の推進

再生可能エネルギー及び上下水道資源の有効活用や節電など、環境に配慮した取組を行い、環境負荷低減を推進します。

指標名	実績 (H25)	目標値 (R9)
①CO2排出削減量	2.3万t	▲1.2万t

※国の目標がH25基準で定められていることから、H25の実績を基準値とする

### 施策指標の設定について

- ・ 前期計画では「エネルギー消費量」を施策指標としていたが、国や本市の脱炭素化に向けた方針を踏まえ、取組を強化していく必要があるとともに、国からは上下水道事業における温室効果ガス排出量の削減目標が示されていることから、後期計画では「CO2排出量削減目標」を新たに設定する。

### 目標値の設定について

- ・ 施設の統廃合や、再生可能エネルギーの活用などに取り組み、本市「カーボンニュートラルロードマップ」の温室効果ガス削減量を踏まえた、上下水道局の目標値を「▲1.2万t」とする。



計画の柱

7 健全な経営の推進

財源の確保により、安定した財政基盤を確立するとともに、人的資源の確保・技術継承により、安定した組織基盤を確保します。また、民間活力の導入やアセットマネジメントにより健全な経営を目指します。

基本施策

- 1 安定した財政基盤の確立
- 2 安定した組織基盤の確保
- 3 持続可能な経営の推進

指標名	現状 (H28)	目標値 (R4)	R4見込み
①企業債残高(上下水道合計)	944億円	740億円以下	666億円

改定計画

計画の柱

7 健全な経営の推進

財源の確保により、安定した財政基盤を確立するとともに、人的資源の確保・技術継承により、安定した組織基盤を確保します。また、民間活力の導入やアセットマネジメントにより健全な経営を目指します。

基本施策

- 1 安定した財政基盤の確立
- 2 安定した組織基盤の確保
- 3 持続可能な経営の推進

対象事業の増加に伴い、前期見込みから現状値が増加

指標名	現状 (R4)	目標値 (R9)
①企業債残高(水道)	246億円	350億円以内
②企業債残高(下水道)	440億円	420億円以内

施策指標の設定について

- ・ 企業債残高については、これまで元金償還額以内での発行とすることで抑制に努めてきたが、今後増大する施設・管路の更新需要に対応していくための財源として企業債を効果的に活用していく必要があり、残高を適正に管理していく必要があることから引き続き「採用」する。
- ・ 農業集落排水事業・地域下水処理事業・工業団地排水処理事業の下水道事業への経営統合を踏まえ、これらの状況を加味して算定することとする。

目標値の設定について

- ・ 目標値の算定にあたっては、更新需要の増加を踏まえ、効果的に活用を図っていく方針とした一方で、計画期間内における経営の健全性を維持していくため、投資・財政計画を踏まえた計画期間内の企業債残高の目標値を「水道：350億円以内」、「下水道：420億円以内」とする。